

地区目標

ロータリーにもっと誇りを
そして学び DEIの心を持って行動実践しよう

クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！

◆点鐘：遠藤 靖彦 会長

◆ロータリーソング：それでこそロータリー

◆司会：角田浩二郎 S.A.A.

◆会場：山形グランドホテル



第3037回例会

令和6年12月23日(月)

会長あいさつ

遠藤 靖彦 会長



まず、先週のクリスマス家族例会、大変盛大に開催することができました。担当の親睦・家族委員会の皆さま、そしてご参加いただいた皆さま、家族の皆さまにあらためて感謝を申し上げます。

これまで、会長挨拶で一度も私の業界のことについて話をしたことがなかったのですが、今回は業界の話をしなくてはならないのではないかなということで、準備をしてみました。

皆さん気になっていると思いますが、ガソリンについて国からいろいろな補助金が出ておりました。これが、この12月と1月で段階的に補助金を下げていくという流れになっております。この補助金の対応というのが、燃料油価格激変緩和対策事業というもので行われておりました。資源エネルギー庁のほうで検討いただき、補助金が出るということになりました。この補助金について、ロシアとウクライナの戦争によって原油価格が高騰したためにこの補助金が対策になったというふうには考えられている方もいらっしゃると思います。ただ、そういうことではなくて、2022年1月からこの補助金というものは発生をしております。趣旨としては、コロナ禍から戻りゆく経済環境、その経済対策として、それを阻害する石油の価格についてある程度の補助を出して対応していくということ。あと1点が、原油価格の高騰ということで、2021年の閣議決定によって2022年1月から実施されたという補助金であります。ロシアとウクライナの紛争については、2022年2月に勃発しておりますので、その前からこの対策というものが行われたというのが現状であります。

ただその後、原油価格も着々と高騰してしまいまして、補助金に対してもいろいろな対策が途中途中で変更になったと。当初、全国平均価格170円に設定をして、それに対して足りない分の補助を出すということで、リッターあたり5円を限度に補助を出す。ところが、それで間に合わないということになりまして、3月以降は原油価格を全国の平均として172円、ですから175円の所も168円の所も全国的にはいろいろあるのですけれども、その全国の平均を172円として、リッター25円を上限にして補助を出すという形に変わりました。それ以降、今度は168円というものを基準にして35円を上限にして補助を出すという流れに変わっております。

ただ去年の1月から、上限を緩やかに下方修正していくという方針が出まして、それに対する対応が検討され、6月からは2週間に1回、補助金を10分の1ずつ削減していくという流れになりました。

ところが、原油価格が思ったより高騰しまして、9月の検討以降、11月からまた185円という金額をベースにそれに対する補助を出すということになって、つい最近までその流れが続いていたというのが現状あります。

これに対して今年度いっぱいこの補助を廃止すると、その方向で進めるという方向性が出されました。それで、資源エネルギー庁としては冬場の需要期の前にこの処理を対応したいということで、9月10月で補助金の廃止の方向に動く予定でありましたが、選挙が起きました。閣議決定が決まらないと。これが11月にやっと決まり、12月からの廃止の動きになったというのが現実であります。

前はリッターあたり約15円という補助が出ていましたが、12月19日を境に、19日からはその中の5.1円を下げると。これに消費税が入りますから5.6何円の補助が下がる。結果として市場で販売する価格がその分値上げになってしまうという動きになります。そして、来年の1月16日からはさらにこの5.1円が補助金として削減されるという予定になっております。

2月については、残りの数円分についての検討を行うという予定になっております。これで業界にどのような影響があるかといいますと、「仮需」と業界としては呼んでいますが、いわゆる明日から5円高くなるよということで、その前に駆け込みで大至急ガソリンを入れたい、灯油を持って来てくれという需要が急遽増えます。急な連絡になりますので、これに対して配送なりの対応が追いつかないということになります。ですので今回、相当な配達等々いろんな混乱を起こしました。また、そういうことでの緊急の需要が起きますから、私どもが持っているタンクの中も急激に減るということになります。これに対して、メーカーが配達するキャパというものもありますので、こちらも追いつかないという流れになります。どうしても金額が大きく変わるときについては、それに対する配送というものがひっ迫して動かなくなるという状況が出てまいります。

そのような状況の中ですので、できれば早め早めの対応をお願いいただければありがたいなと思っております。以上、当業界における最近の話題になりますが、皆さまもご存じおきいただければと思ひまして、お話をさせていただきました。

幹事報告

武田 良和 幹事

- 本日、地区より100%出席優秀ロータリアンの表彰としてバッジが届いておりますのでご紹介申し上げます。ご紹介されました前のほうにお越しく下さい。10年表彰、遠藤正明さん。20年表彰、五十嵐信さん、武田博文さん。30年表彰、浦口太門さん、吉田福平さん。40年表彰、吉田昌弘さん。それでは遠藤会長よりバッジを渡していただきたいと思ひます。



- 本日が今年最後の例会ということで、次回は来年の1月20日、新年会からスタートということになります。だいぶ間が空いていきなりの大盛り上がりでスタートできるということで、楽しみにしております。よろしくお願ひいたしたいと思ひます。

ニコニコ BOX

〈12月23日〉

遠藤靖彦会長／クリスマス家族例会

先週のクリスマス家族例会には、多くの参加をいただきありがとうございました。準備をしていただきました親睦・家族委員会の皆さまに感謝して。

長澤裕二さん／スキーシーズン開始

先週からスキーシーズン開始しました。今シーズンは50日間滑ろうと壮大な計画でいます。12月から寒いので雪の状態は最高です。

遠藤正明さん／やまがた広告景観コンテスト受賞

えんどう宝珠橋店が、やまがた広告景観コンテストにて山形市長賞を受賞しました。設計・施工していただきました市村工務店様のおかげです。ありがとうございました。

市村清勝さん／山形ワイヴァンズ、ホーム2連勝

ホーム山形県体育館において、山形ワイヴァンズ対福井2連戦が昨日おとに行われしました。格上の福井を迎えての価値ある2連勝です。がんばれ、山形ワイヴァンズ。

親睦・家族委員会一同／クリスマス家族会、ありがとうございました

先週、12月16日のクリスマス家族会に多くの皆さまのご参加をいただきましたことに感謝申し上げます。例年と異なる内容とさせていただきますが、楽しんでいただけたなら大変うれしく思ひます。来月の新年会もどうぞよろしくお願ひいたします。

佐藤章夫の仲間たち／佐藤章夫さんを悼んで

私たちの大好きな仲間、農学博士の佐藤章夫さん。あなたが亡くなられたことはいまだ受け入れることができません。魂が安らかなることをお祈り申し上げますのみです。ご冥福をお祈り申し上げます。

ゲスト卓話

米山奨学生として



カン・エイカ さん
《米山奨学生》

西クラブの皆さん、こんにちは。大江クラブのカン・エイカです。本日はスピーチの機会をいただき、誠にありがとうございます。今日はよろしくお願ひします。

まずはこのピンクの子から紹介したいと思ひます。このピンクの子は名前があります。名前はワイチョンと呼びます。私が作ったキャラクターです。

さて、私は現在、山形大学で修士2年生として日本学を選考しています。主に日本漢字音と現代シオク呉音、朝鮮漢字音の対象研究に取り組んでいます。私の出身は中国です。中国というと漢民族の国という印象があると思ひますが、中国には56民族が存在しています。その中で私は少数民族の朝鮮族に属しています。そのため、私は中国語と朝鮮語を母語として使うことができます。

中国には「三分钟热度」という言葉があります。日本語の「三日坊主」と似たような意味です。忍耐力が欠けていて飽きやすいという性格なのですが、私はそのおかげで多くの趣味を持つことができました。絵を描くこと、バレーボール、コスプレ、旅行、動画撮影、ビデオ編集などです。絵を描くことは小学校の頃から始め、日本のアニメに影響されて続けています。バレーボールも好きで、友達との絆を深めるよい機会になりました。子どもの頃、過去の出来事をあまり覚えていないことに気づいたことがあります。楽しい思い出も具体的な出来事を思い出せなかったです。母に頼んでカメラを買ってもらい、日常を記録するようになりました。しかし、撮影したビデオは長くて退屈なもので、自分でも見返すのが面倒でした。そこでビデオ編集を学び、動画を短くまとめることで後から気軽に見返すようになりました。

旅行も好きですが、日本に来てから訪れた場所は山形、仙台、東京、名古屋。残りの滞在時間もいろいろな場所を訪れたいと思ひます。

私は高校から日本語を学びましたが、日本文化に初めて触れたのは小学生の頃でした。私の高校では学びたい外国語を英語と日本語から選ぶことができます。私は子どもの頃から日本文化に興味があったため、迷わず日本語を選びました。特に日本のアニメは私に非常に深い影響を与えました。美しい絵や優しい物語にも感動しましたが、私がより深く感動したのは日本のアニメにおける日常生活の描写でした。子どもの頃に見たあのアニメのタイトルはもう覚えていませんが、ラーメン店の物語であったことは鮮明に覚えています。主人公がラーメン店の息子としてラーメンを学ぶために一生懸命努力する熱血ストーリーでした。小さい頃から勉強をすることが良

い子の証と教えられてきた私にとって、これはとても新鮮な考えでした。普通のラーメン店でさえ夢の舞台になり得るのです。夢は必ずしも偉大である必要はなく、平凡でも幸せになれる、幸せは日常のあらゆる場所に存在していて、それに気づき、感じ取れるかどうかは私たち次第だということがわかりました。

ロータリークラブでの活動で世界各国の人びとと出会い、世界についてより現実的な理解を深めることができました。ロータリークラブは学生たちにさまざまな活動に参加する機会を頻繁に提供してくれました。これらの活動はインターネットで情報を調べるよりもずっと具体的な体験です。今年はロータリーの米山奨学生に選ばれたことによって多くの貴重な経験を積むことができました。これからはもっとできるように思います。奨学金を受けたことで経済的な不安から解放され、学業に専念することができました。より多くの時間を勉強や研究に費やすことができ、自分の目標に向かって全力で取り組んでいます。このような素晴らしい機会を与えてくださった皆さまに心から感謝を申し上げます。これからは奨学金を受けた者としての誇りを胸に学業や将来の目標に向かって全力で取り組んでいきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

江西省の観光地としてはそういう昔の村の形の観光地があります。例えばこの左の写真は、秋になる時いっぱい食べ物を外に出して日当たりしました。例えばこの赤いやつは唐辛子です。黄色のやつは菊花です。中国人は菊花のお茶とかも飲みます。これは江西省の古い建物です。この古い建物は、昔の詩人はよくこちらに来て詩歌を作ったりします。とても有名です。これもとても有名です。夜になるととてもきれいです。

鉄花というショーがあって、鉄を溶かしてとても熱い温度になる時、専門の人、ショー人が高いところに打って、高いところに飛んで、花火みたいな形になります。とても危ないショーです。これは江西省の世界文化遺産です。廬山というところです。廬山は昔からとても有名で、李白とか白居易などの詩人がこちらに来て詩歌を作ったりしました。この三清山というところは道教の名山であり、道教は昔の宗教の1つです。この龍虎山も道教の昔の人、道教の人たちがよく行くところみたいです。本日はありがとうございました。



ショ・エキさん
《米山奨学生》

皆さん、こんにちは。山形大学の4年生、ショ・エキと申します。クラブは山形南ロータリークラブです。私の出身は中国の江西省です。

私が専攻しているのは児童教育です。趣味は温泉めぐりとドラマ鑑賞と料理作りです。私は日本の温泉は大好きで、今まで7カ所くらいのところに行きました。一番好きなのはあつみ温泉です。海もあって、旅館とかもとてもきれいです。おすすめするのはたちばなやという旅館です。とてもきれいです。

江西省は南のほうです。内陸のところにあります。人口は4,500万人です。総面積は16.69万平方キロです。日本の45%の面積があります。料理は写真どおりとても辛いです。醤油ベースで味が濃くて辛い食べ物はとても有名です。日本人によく知られているのは四川料理です。実は四川料理よりちょっと辛いという説もあります。

江西省の伝統料理は、この大きい壺の中に小さい壺がいっぱい置いてあって、冬になるととてもよく食べられる料理です。スープは50種類とか60種類くらいあります。冬になると中国人はスープを飲むのはとても好きです。あと、このピーフンは江西省の有名なものです。米で作られているもので、ベトナムとかにも輸出品として輸出されています。



リュウ・ケイエイさん
《米山奨学生》

皆さん、こんにちは。寒河江ロータリークラブのリュウ・ケイエイと申します。本日、よろしくお願ひします。

皆さん、年度報告ということをご存じですか。もともと企業が年末にその1年間の生活をデータ化して表した報告書のことです。ちょうど年末ということもあり、また、私がロータリー米山奨学生として活動するのもあと2カ月になりました。この機会にこの1年間の奨学生生活を振り返る形で年度報告を作ってみたらおもしろいかなと思いました。そこで、自分でパワーポイント用の画像素材をたくさん作ってみました。私が好きな絵本スタイルとロータリーの歯車の要素を取り入れています。

私とロータリー米山の最初の出会いは去年の12月5日、面接の日でした。あの日は本当に緊張していたことを今でも覚えています。室内の照明も頭の上で当たり、私の汗が反射するんじゃないかと思うくらい緊張していました。面接が終わったあとほかの学生がどんな質問を聞かれたか聞いたら、みんなは研究内容に関する質問を受けていたそうです。でも私はまったくそういう質問をされなかったので、不合格かなと思って、家に帰る時、大好きなとんかつを3,000円分食べて自分を慰めました。だから最後に合格通知を受け取った時には少し驚いて、これはメールの送り間違いかなと思って、それでも

奨学生になって本当に嬉しかったです。

私はこの1年間、合計13回のスピーチを行いました。そのうち9回は寒河江クラブの例会でスピーチ、残りの3回はほかのクラブでのスピーチでした。天童クラブでのスピーチの日は多くの方が参加されていて、東クラブは料理がとてもおいしかったです。でも今日、山形西クラブに来て、一番人数が多くて料理がおいしいクラブは山形西クラブに変わりました。

こうしたさまざまなスピーチを通して、大勢の人の前で話すことは恐怖の心がかなり薄くなりました。自分では大きな成長をしたかなと感じています。また、奨学生として、私は山形市以外の場所を旅行する機会もたくさんいただきました。春にはロータリーの皆さんと鶴岡市で日本海の風景を見て、夏には私のカウンセラー、インドウシンイチさんが主催するRYLAに参加しました。秋には東京の米山梅吉記念館を見て、冬には地区大会に参加しました。これらの活動を通じてたくさんの感動と学びを得ることができました。

例えばRYLAでは、30代の社会人や18歳の高校生、アメリカやメキシコに留学した経験のある高校生など幅広い年齢層の方々と出会いました。彼らとの会話を通じて人生の経験の違いが人の考え方にどれほどの影響を与えるのかを実感しました。そして、特に印象に残っているのは、やはり鶴岡市の活動です。宿泊先は何度もお会いしたことのあるロータリーのメンバー、ニシハラさんが経営するホテルだったので、まず安心感があります。

また、日本海の夕日と水族館の動物とか、とてもおもしろいです。印象的でした。一番忘れられないのは米山梅吉記念館です。記念館には代々のカウンセラーの名前が刻まれた長い石があり、それを見た時にこんなに多くの方がロータリーのために力を尽くしてきたんだと感動しました。

そのロータリーの活動に限らず1年間を振り返って一番印象が深かったのは、やはりロータリーのソングです。そのソングの歌詞には漢字がたくさん使われました。私は「これは絶対読めるぞ」と自信满满だったのですが、実際に皆さんは漢字を音読みじゃなくて訓読みで使います。私は全然正しく読めませんでした。

こうした1年間が過ぎ、その時間の早さを実感しています。私の日本滞在はたった2年間、その半分を奨学生として過ごしたわけですが、この1年間で参加した活動やスピーチは私の人生にとって忘れられない経験となりました。この経験に基づいて、これからの道を前向きに歩んでいきたいと思います。

最後に皆さんにメリー・クリスマス。ちょっと早いですが、よいお年を迎えてください。皆さんが来年も健康でありますように祈ります。



本日出席 (12 / 23)	会員総数	出席会員数
	107名	55名